

第6回きたひろしま都市型観光推進協議会 議事要録

- 1 日時 平成27年12月3日(木) 18時30分から20時00分
- 2 場所 北広島市役所第3庁舎3階 会議室
- 3 出席状況

NO	氏名	職業等	出欠
1	上原康雄	北広島市観光協会会長、北広島商工会会長	欠
2	山崎悦子	北広島商工会会員(行政書士山崎法務事務所)	欠
3	千葉隆一	札幌ゴルフ倶楽部輪厚コース支配人	欠
4	石塚正敏	札幌北広島クラッセホテル支配人	出
5	(副座長)川口満久	ホクレン農業協同組合連合会北広島事務所所長	出
6	中村哲	三井アウトレットパーク札幌北広島所長	欠
7	(座長)吉岡宏高	札幌国際大学観光学部国際観光学科教授	出
8	三浦麻衣	市民(会社員)	出
9	善甫啓太	市民(会社員)	出
10	吉田智樹	北広島市経済部商業労働課課長	出

きたひろしま都市型観光推進協議会事務局

所属	役職	氏名
経済部商業労働課	主査	山田基
	主任	青木潤
	主事	沢井祥子

傍聴者

人数
0人

4 議事録

1. 開会

事務局) お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。第6回北広島市都市型観光推進協議会を開催させて頂きたいと思っております。

座長) 皆さん今晚は、今までに色々ご意見をいただけてきましたが、ある程度、形になるようなものを作ってまいりたいと考えております。前々回はあまりにも簡潔すぎた柱となっております。そこでもう少し盛り込んだ方が良くはないかということで、前回の協議会を行いました。今回は、事務局がコンセプト案を作っておりますので、皆さんでたたいてみたいと思っております。何か動きをおこせるような点を意識しながら議論できればと思います。それでは資料の説明をお願いいたします。

2. 議事

事務局) 資料説明

先ず、背景としましては、北広島は恵まれた交通環境から道央圏の要衝ということで、日々、沢山の人が往来しているわけですが、北広島という名称からは観光のイメージを持ちにくい。また、市内周遊する観光にも結びつかないなどの課題があります。北広島には多くの魅力や資源があります。これらの潜在力としていかに観光に結び付けていくのかが今後の大きなポイントとなると考えております。

今後は魅力ある地域資源を上手く活用して、観光資源としてそれを育てて、観光の立派な資源となるようにしたいと考えております。

そこで4つのコンセプトを掲げました。

一つ目は、①「何でも体験・体感できる、北広島で北海道の良さを味わう」

今まで多くの意見の中では、やはり北広島の自然環境は良い、というところと、何でも体験できるものがあるというものもありました。また、このロケーションから北海道を味わえるという点も掲げられました。そのような環境において、様々なアクティビティが楽しめるものがあるということで、1点目に掲げております。

二つ目は、②「いつでも楽しめる、どこでも行ける北広島」

北広島の地の利を活かしていきたいという点で掲げました。北広島からは他の観光地へも簡単に行けます。市内だけで観光を完結させるのではなく、どんどん北広島から他の地域にも行っていただき、また、北広島に戻ってきてもらう、そのような流れも必要ではないかと考えております。

三つ目は、③「ゆったりとした北広時間を楽しむ」

四季折々の美しい自然の中でリゾート気分を味わい、ゆったりとした時間を楽しんでもらうというコンセプトを考えてみました。

四つ目は、④「温故知新を体感する」

歴史的資産を活用した観光ということで、ある意味で鉄板ネタかもしれませんが、寒地稲作の発祥の地、クラークといった、北広島の歴史を知ってもらうことで、北海道開拓の歴史も学んでいただき、挑む精神に触れてもらいたいといったことを掲げてみました。

この4点について、コンセプト（案）として掲げてみました。

2枚目の資料につきましては、どのような取り組みができるのか、イメージ的なものであったりもしますが、案として掲げております。

左側には、具体的な取り組み（案）としておりますが、その横には、3つのカテゴリを分けております。1つ目は「企業連携」を活かした取り組みということで、市も含めてですが、企業連携というカテゴリを作りました。2つ目は「市民力」を活かした取り組み。3つ目は「関係団体」と連携した取り組みとしております。大きく3つに分けております。

「企業連携」を活かした取り組みについて

北広島と言えばゴルフということで、「ゴルファーズパラダイス北広島！」と掲げました。ゴルフ場の資源を使った観光ということを考えてみました。ゴルフ場の名門コースがある北広島。そして、輪厚は特に全国的に有名です。この知名度を活かした取り組みが必要とっております。ゴルフの後にショッピング、グルメを楽しんでいただいたり、ゴルフ場巡りのスタンプラリーを行い、クリアすると何かプレイチケットやショッピングチケットをもらうことができるといった、ゴルフ場やショッピング施設、宿泊施設などと連携できる仕掛けなどを掲げてみました。また、ゴルフ場での婚活や冬の閑散期のゴルフ場を活用したイベントなどを掲げてみました。そして、インバウンド需要にも対応した企画もできるのではないかと考えております。

そして「北広島でアクティビティ！」ということで掲げております。家族が北広島に来たときに、お父さん、お母さん、子どもさんが各々、お一人お一人がお好みのアクティビティを楽しむことができるというのが、この北広島の売りではないかを思っております。冬は、クラッセホテルでは、スキーのほか、スノーラフティング、スノーモービル、パラセイルフライトもできます。比較的、多くのアクティビティを楽しめるのではないのではないかと思います。周辺ではここまでアクティビティが揃ったまちはないと思います。

また、アクセス性を活かして他のまちの観光地にも行ける。交通の要衝である北広島を基点に滞在いただき、そして、どこへでも行くことができる。ハブ観光という意見がありましたが、この地の利

を活かした観光ということを掲げさせていただきました。

そして、「北広島でアクティビティ！」の最後になりますカヌーで石狩平野縦断！ですが、長沼・南幌の行政界を流れる千歳川で川下り、実際に川下りが出来るかは未知数ですが企画材料として掲げてみました。

次に「市民力」を活かした取り組み、ということで、まずは「北広時間で御もてなし！」です。

これは、ゆっくりとしたスケジュールで、贅沢な時間を過ごしていただく。そして、道外からきた観光客には、ここで“*This is Hokkaido*”を堪能できる。そのように過ごすことで“北広時間”を過ごしてもらうというものを掲げております。また、時間的な制約が少ない一人旅向けなどに、温泉につかりながら、贅沢な時間を楽しんでもらうということも良いと思っております。

また、北広島は綺麗な星空が見れるといったご意見がありましたが、この星空を観察しながら美味しいコーヒーを楽しむといった夜間観光も掲げてみました。

そして「北広島を知る観光！」というところです。

まず、市民大学のOBの方のご協力により、北広島の歴史や文化を伝えていただき、このまちの知っていただくようなものはできないだろうか。市民大学のOBの方は多くいらっしゃいます。OBの皆さんのお力を是非ともいただけないかという考えです。地元の人が知っているフォトスポットを案内したり、他には無いようなニッチな資源やこだわりを伝えて、北広島のファンをつくっていきたいと考えております。そして、北広島は市街地が分散しているがゆえに、各々の地域特性があります。現在ある資源の掘り起しが必要ですが、その地域特性を活かした楽しみ方を提案できればと思います。ここでもやはり、市民の方のお力をお借りしないとできない部分と思っております。

次に「関係団体」ということで、まずは「サイクルタウン北広島！」です。

北広島には、エルフィンロードや団地内のトリムコースなど、サイクリングが楽しめる道路があります。そして道都札幌に近く、高アクセスといった利点がありながらも、豊かな自然環境にも恵まれていることから、北海道らしさを満喫しながらサイクリングが楽しめる。これらの資源は財産であり、これらの資源を活用したサイクルツーリズムを提案できるのではないかと考えております。

ただ、北広島だけでは上手くいかないと思っております。札幌、千歳方面のほか、空知方面にも視野に入れて考えていくべきと思っております。

そして、自転車の駅やレンタサイクルステーションなどは、既存の状態ではまだ力不足と思っております。一層の充実も必要と考えております。

また、サイクリングによって歴史施設を巡っていただく、或いは、グルメを楽しんでもらうなど、ツーリングと観光資産を絡めた仕掛けも必要と思っております。

そして、先ほどの説明と重複しますが、分散した市街地を結ぶようなコース設定などにより、ビギナーからエキスパートまで、ニーズに幅広く対応できるのではないかと考えております。

この方向性につきましては、皆さんからいただいた意見や現在実現していること、また、期待といったものも含めて、複雑に絡み合ったものとして、纏めております。そして、まずはコンセプトがあって、考え方や内容を整理してみました。

皆さんから、ご意見をいただきたいと思います。

座長) 叩きがいのある資料が出来たと思います。この資料については、今回は初見なので、中々ご意見までは難しいところもあると思いますが、内容について感じたことをお話いただき、また、それをもんでいくということを進めていければと思います。

それで、まずは確認させていただきたいのですが、1頁に4つの項目がありますが、2頁の資料を見たときに、どのように連動しているのかが把握しづらいのですが？

事務局) 2頁の「具体的な取り組み(案)」の内容が、1頁にある項目の複数に該当することがあって、連動したようには資料はできておりません。

座長) 例えばゴルフは①②で、アクティビティは①③で、北広島時間で御もてなしは②③、知る観光が②④で、サイクルタウンは①～④ということですね。既存ストックを活用したプランとして考えられていると思います。

○委員からの意見

- 私は北広島というまちが好きで住んでいて幸せです。今、説明をお聞きしながら、何故、私はこのまちが好きなんだろうか？と考えていました。キロロ、ルスツなどは自己完結型リゾートを態々つくって、そこに人を集めています。北広島は、まち全体がリゾートと思うんです。このリゾートの中に人が住んでいる。ハード面で何かつくらなくても、北広島自体にリゾートの要素が備わっている。市街地が分断しておりますが、上手く見せると、まち全体がリゾートと捉えることができ、そこをアピールできると思います。それぞれが好きなことを発言してきましたが、ここにきて、それが何となく見えてきたのかなと感じております。自転車については、私も発言してきましたので、ベリー、ベリーハッピーです。カヌーの件ですが、道央圏ではやはり美々川だと思います。ただ、千歳川と美々川が繋がっていないものですから、何か上手くできればと思いました。ただ、長沼に隣接した千歳川はそれほど景色もよろしい状況と言いつらいところもあります。石狩平野が見えるというよりも、逆に覗かれているというように思います。でも上手くカヌー、カヤックなどを繋げるようなことができればと思います。ゆったりと流れに沿って楽しむというのはあると思いますが、景色が良ければ呼び込めると思います。
- 以前に、夕食を頼まないお客様向けに、市内でお食事をできるようなものはできないかと考えたが、協力いただくことが難しかった。年間3万人程のお客様がいらっしゃるの商工会にも提案した。
- 星空の話で盛り上がりましたが、昼間の景色は色々なところで見ていると思いますが、飲食店への繋ぎだけでなく、夜の星を見てもらう、ナイトツアーのようなものは良いのはと思いました。
- カヌーについては、防災センターの近くに船着場がありますが、その昔、空知側との間を行き来していた経過があり、歴史的な意味合いにも絡んでおります。何かできないかといった期待はあります。ここの千歳川はアンジュレーションが少なく、川下りも面白みが無いかもしれませんが、“北広時間”といった要素もあると思います。

事務局) 千歳川上流である千歳方面、又は江別方面の石狩川までの間などはどうでしょうか。

座長) 長沼の運河など、逆に人工的なものも面白いのではないのでしょうか。実際に繋がっているのか、現場を確認しなければならないですが。また、長沼行く間に、ジンギスカンの素材が集まるとか。途中で野菜販売所に立寄るなど。

BtoBで行うとしんどくなってしまうこともあるのではないのでしょうか。例えば市民の方が関わったもので、今日できるものカードのようなものがあって、その中でチョイスしてもらおう。そのような工夫を凝らしていくと従来のやり方と違った方向性でできる。多様な人が供給し関り、多様な人が受けること。このマッチングの様な気がします。この仕組みが出来たら、まだどこも出来ていないと思います。

例えば、善甫さんは、「外国語が話せます」、「カヌーに乗れます」といった善甫カードのようなものがある。こういったカードがあり、一度カードを引くと、一人しかいないので、それは売り切れとなる。ただ空振りが重なると、やる気がなくなってしまうことがあり、実際に出来ていかない理由があります。

○委員からの意見

- 今、お話しをお聞きしていると、市民大学OBの方々が考えていることと、我々が求める観光に係る説明はちょっと違うのかなと思いました。市民大学のOBの方などは、まちの歴史を勉強されており、これらのことについてはお話しができると思いますが、インバウンドなどになると言葉の壁があり難しいと思います。今、お話しをお聞きしていると、市民大学OBの方々が考えていることと、我々が求める観光に係る説明はちょっと違うのかなと思いました。

座長) 余り固く考えないでまちの歴史を語られても、ニーズは無いと思います。30分完結でやってもらうなどが必要だと思います。この様な仕組みを作っていくと、観光に来た方が満足し、市民も出番があり満足する方向に繋がっていくと思います。

次に繋がるような、今後はここに行きたいといった、リピーターを誘導していくというものができるとはならないでしょうか。

核になっていくのは、クラッセホテルや三井アウトレットパークで、そこに何かしらの要素のものか、トライ&エラーをしながら繋げていくようなイメージではないでしょうか。

それと資料では、これは企業、これは市民、これは行政などに明確に分けているが、相互になる部分があると思います。

例えば、自転車について基盤である道路は問題無いが、パッケージとして、乗せるまでの面倒までお手伝いするような、ノウハウまで含めてやってあげると、外との差別化が図られるという話題になっていました。

○委員からの意見

- 観光協会で“ツール・ド・キタヒロ”というイベントを行っていますが、参加者からは概ね好評を得ています。その人たちに、自転車まちとして考えた場合、何が必要かをお聞きしたら、お店などに自転車の置く場所が必要だとお話しされていました。
- 高知のカフェでは、気軽に立寄れるように設置しているところもある。

- まちのいたる所に自転車置き場があるというのも良いと思います。
- ホテルの方は、途中の道路が狭く危険なので自転車で来られるとちょっと困ります。車との接触の可能性が有り、ゴルフ場がNGとしています。
- レストランをサイクリストが利用されることがありますが、占用シューズで来られるので、スリッパなどに置き替えただただいております。飲食店でもそのようなサービスを行い、事前にアナウンスすることによって、来やすくなるのではないのでしょうか。このようなイベントが定期的に行われるのであれば、先ほどの自転車と自動車の接触のお話がありました。自転車の方を誘導する通路なども設けなければならないかもしれません。誘導者がいなくても、気軽に自転車で来場できるようにしてあげる必要があるのでしょうか。
- 自転車のまちということで、まちづくりを進めるのであれば、その様に自転車用の道路などの整備も必要となることも考えられます。
- “自転車のまち”というのは、全国でどのくらいあるのでしょうか。

事務局) “自転車のまち”の数までは把握しておりませんが、宇都宮、那須町など、栃木県に多い。首都圏から車により1時間程度で行くことができ、そこからツーリングを楽しむ方がいる。お店などのサイクルスタンドを設置しているところもある。埼玉、上尾なども同様の動きがあります。

座長) 骨格はあるが、肉が付いていない状態と言えます。その状態を観光という側面からしっかりサポートしようとする考えが必要になると思います。

今、掲げられた内容の全体を一言でいったら何かを考えていましたが、

ゴルフについては、自分ところの強み、知名度を活かしていきましょうという考え。

北広島でアクティビティについては、接着剤として観光を使っていきましょうというところ。様々な要素、ばらばらのものを繋ぎ合わせていきましょうという考え。

北広時間で御もてなしは、我々の暮らしをお裾分けしましょうという考え。

北広島を知る観光というのは、まだ、思い浮かばない。ねらいをどのように捉えれば良いのかを考えていました。

アクティビティの話ですと接着剤のようなイメージとなりますが、今までの経過では、北広島流モーニングという。ハム、タマゴ、色々あるけど今はバラバラになっている。それを1箇所に集めるのではなく、お客さんに回ってもらう。一回りすればモーニングが完成する。

○委員からの意見

- 最初のころと思いますが、市民に「北広島の良いところは？」と聞いたところ、「何もない」と言われたといった話題が出ていました。今このままだと、やはり「何もない」と言われると思います。
- 東川町が写真甲子園や外国人受け入れの取り組みなどを行っており、まちの外に対してのアピールも上手にやっていると思います。観光も力が入っていて、コンサドーレのサッカー場やスクールなどもある。小学校もすごく綺麗と聞いている。また、子育てしやすい環境があり、水道も無料で使える。写真甲子園では、多くの高校生がまちに来て、色々なまちの様子を写真で発信して

くれている。

- 北広島の方がアクセスとしては優位なのに、少し悔しい思いを持ちました。北広島団地は高齢化が進み、中学校もクラスが減ったり、野球部が無くなるなどの問題も出てきている。やりたいことが何でもできるといったことを、団塊の世代やお客さまには伝えることはできても、住んでいる人にはできないというイメージを持たれてしまう。
- 観光客向けの事業と住んでいる方向けの事業は別々ではないかと思っていましたが、東川の様子を見みると、両方を満足するような取り組みもあるのだと思いました。
- 海外から多くの方が来ているのですが、ホテルや三井アウトレットに行ってしまうだけです。北広島に住んでいる方には、関係ないように思われてしまう。何か絡めることができれば良いと思います。また、子どもたちを育てる世代が転入してくると、市民大学の方の活躍の場も増えたり、もう少し違ってくると思います。
- 自転車による観光も進めていくのであれば、市民全員が自転車を持っているような勢いも必要ではないかと思っています。
- 北広島は知識人の方が多いので、何かモニターのようなものはできないかと思っています。例えば、地域で開発した商品を、出来栄えはどうなのか、といったことを行っていただく。モニター事業のようなイメージで、予め登録いただいた方にモニターになっていただくというものです。そして、今日は、開発したケーキを試食していただき、ご意見をいただくなど、企業が自社開発のものを市場に出す前に、状況を見るのに活用してもらうなどはどうかと思っています。観光もそういった眠った人に活躍いただくことは必要と思います。

座長) 旭川に住むなら、手厚い東川町に住もうという人が増えているようです。町長が戦略的に事業を進めていますね。

観光客が増えることで、まちにマイナスの部分も懸念する考えもありますが、まちの人が学んだことを、別な形で活かしていけるのであれば、その学習成果や生きがいに結び付いたり、その辺りが上手く繋がれば、お互い共存した形で上手くいくと思います。もう一つ、定住と観光という観点で見ると、まちに住んでもらうということと、観光で来てもらうことは、別のものにはなってしまいます。

ですが結果として定住になるんだと思います。定住を目指すのではなく、何回も来てみて、結果的に定住になったなど。はじめて本州から来て、何かピンときたなど。

資料にある「市民力」の方は、お金を問題視していない。「企業連携」はお金の部分もシビアになるが、そこに「市民力」が働きかけることによって、良い影響を与えることもある。B to Bでは難しいことも、「市民力」によって一味違う味付けが可能となったり、多様なアクティビティが可能になるということも有りうる。サイクリングに対しても、同様のことが言えます。

定住については、観光だけでは解決できないが、観光を通じて“良いまち”だねと言われるようになれば、住んでいる人も、“良いまち”という認識を持つようになるのではないか。そういう意味では、定住に向けての大きな力となると思います。

北広島には東川より8倍の人がいるので、市民全員が総力戦をしなくても、8人に一人の人が何かしらのアクションを行っていくと、凄いことになってくる。そして、6万人も人口があれば、(各ジャンルについて) 大方の人が揃います。恐らくマイナーな言語にも対応できるのではないのでしょうか。

仕事ベースであるということになると思いますが、家庭に眠っているようにも思います。それを引き出したのが伊達市です。噴火湾文化研究所というところがありまして、小規模な考古学会を開催するなどの活動をしています。噴火湾沿いのこのまちは、温暖で住みやすい。退職された元会社マン、先生など、色々な方がいらっしやいまして、これらの事業のお手伝いを行っています。ビジネスではなく、ちょっとお時間がある方が集まって、組織化しています。

座長) 先ほどの基本コンセプトについて考えていたんですが、①なんでも体験・体感できる、北広島で北海道の良さを味わうは、ここが北海道の目次になれば良いと思いました。北広島には大体のものが揃っている。例えば、本格的にスキーに行きたければ、ニセコに行けば良い。ちょっと、スキーをしてみたいという方は、北広島で試してみれば良いと思います。駄目かどうかの確認のための、その目次になればということを考えてみました。北海道観光の展示会のようなまちではどうかと。

②いつでも楽しめる、どこでも行ける北広島は、ちょっと来て、さっと違うところに行く、または、何回も来れるという感じで、バスターミナルのようなイメージを持ちました。バスターミナルには行きませんが、それ程の長居するところではないというイメージです。

③ゆったりとした北広時間を楽しむは、まだ、ちょっとイメージが付かない。

④温故知新を体感するは、学校というと面白みに欠けるのかなと思います。例えば、顕微鏡。ぎゅーと見ていくと、中山久蔵などのお米に関りがある方がいらっしやったので、そこから、農業の話、そして、石狩川や日本最大の用水路の話にも全部繋がっていくようなイメージはどうかと。

皆さんの意見をいただきながら整理していくと、見えてくるように思います。

○委員からの意見

- ビジネスでは無いと言うお話がありましたが、例えば市民大学のOBの方々によって、観光客に外国語で説明する。プロフェッショナルではないが、一生懸命に対応している姿に、恐らく感動してもらえるのではないかと思います。ビジネスではない、片言で良いので、そのような人材を発掘する事が大事になってくると思います。また、専門的なことを説明するのではなく、アウトラインを説明することで、観光客に対しても、それ程深くない話しができるのではないのでしょうか。
- 自転車で良いのではないのでしょうか。例えば北広時間は何だろうと思いましたが、ゆったりとした時間を楽しむとは何かを考えると、移動時間や待っている時間も楽しいのではないかと。移動や待っている時間が、長いとか関係なくなると楽しめる。そういうものは何かと考えていくと、自分の希望で動くことが一番良くて、そうすると自転車しかないと思いました。行った先でのお店には、駐輪できる場所があり、また、入店しやすいようなサービスも必要とは思いますが、また、あるところでは案内できる人がいる。自転車のツーリングでは、先導者が説明できるなど、そのようなことも必要かもしれません。
- クラッセホテルのパラセールについては、風や雪の状況のコンディションが悪いとできないことがあります。
- 地元のはまなす食品に行ってきましたが、こんな素晴らしい会社があるのかと思いました。お土産に納豆の詰め合せをいただきました。ホクリヨウはタマゴがもらえます。北広島市は工場の誘致が上手です。これからは中北薬品や石屋製菓が立地しますが、工場見学だけでも、色々楽しめ

る。そして今でも十分に北広島をPRできる要素はあると思います。どこの会社も本当に素晴らしい。もっとPRして、沢山の方に来てもらえればと思います。

- 新たに工場見学できる企業を開拓していくと、見るところが増えていくと思います。ただ北広島は物流企業が多く、見学が難しいところもあると思います。

座長) アメリカではレインカードというものがあります。野球が雨で中止となった場合、レインカードを配布する。次回はこのカードで観覧できる。見れなくて、できなくてがっかりでは無く、次回のために配布する。次回の分が無料となったとしても、宿泊代などが入れれば良いという考え方です。レインカードの様な発想は良いと思います。

企業でもエンドユーザに届く商品を造っているところはOKですね。工場見学の関係では、私も北海道の産業観光会議の座長もさせていただいておりました。このエリアですと千歳がやっています。また、大きなところになると、恵庭のビール工場です。北広島は物流拠点なのですが、この物流は誰もやっていないので、面白いと思います。物流のシステムは凄いですよね。

本日は個別にご意見も出てきましたが、まだこの資料は初見ですので、何かご意見を今後もいただきたいと思います。個別にでも構いませんので、事務局側にお伝えいただければと思います。今での経過を踏まえて、何か抜けているところはないかなど、ご検討いただきたいと思います。力点を置いた方が良いもの、そして何か尖がったものがあれば良いと思います。

自転車がある程度のもを包含し、何を行うにしても表現できるのではないかというご意見がありました。私もそう思います。自転車はこの資料の並びにあるのではなく、これらを支える手段の部分ではないかと思いました。自転車より上の項目については、ゴルフを除いて、これを目指しましょうというイメージになりますが、自転車はそれを支えているものといことです。

また、個別の中身について、足し算、引き算もあるかもしれませんが、皆さんと考えたいと思います。

そして、1頁と2頁をどのようにリンクさせるか。これもポイントとなります。1頁はここを目指そうと訴えるポイントとしては重要です。そして、それが実施することに繋がるようになっていることが必要となります。これらが明確になっていくと、段々と北広らしさが見えてくるのではないのでしょうか。

次回はこれから展開し、これを磨いてく作業をしていきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

3. 閉会